

●質問  
私は、やはりハード面、道路面を整備して初めて開発事業が成り立つと考えている。そこで、駅前メイン



寺内 充 議員

都市計画道路中央立田線、川口下稻吉線の進捗状況について



十一月、各地区の実行委員の方々にお集まりいただき、市民体育祭検討委員会を開催した。協議の結果、いずれの地区においても、市民体育祭は地元住民の交流の場として、依然重要な役割を果たしているとの意見で一致し、今後も現在と同様の地区割りで開催するとの結論が出されたことから、今後も小学校地区での大会を継続してまいりたい。

（掲載以外の質問事項）

- 二 工事請負の現状と課題
- 三 駅西口エレベーター設置整備



改良が待たれる協同病院入口交差点

通りである中央立田線、川口一丁目交差点から協同病院へ向かう通称川口下稻吉線、それぞれの拡幅改良等の進捗状況について伺う。

●都市整備部長

中央立田線については、今後も道路管理者である茨城県に対し、道路整備計画への早急な位置付け、予算確保を強く要望してまいりたい。

また、川口下稻吉線については、協同病院入口交差点の右折レーンを、現在の三十メートルから七十メートルに延長する道路改良工事を行い、その後はピアタウン側と南側の新川北岸まで、さらに新川から郵便局前交差点までの市道部分について、引き続き整備に取り組んでまいりたい。

●質問  
大岩田配水場にポンプを一台追加することで配水能力がアップし、将来右粕配水場を廃止した場合でも、最も給水圧が低い荒川沖南区での三階まで給水が可能である。つまり三十億円の右粕配水場移設計画を中止できると考えるがいかがか。



古沢喜幸 議員

水道事業基本計画の抜本の見直しを行い、三十億円の右粕配水場移設計画を中止すべきである

●建設部長

議員ご提案方法を実施しようとする場合、大岩田配水場の場内配管更新時には、右粕配水場給水区域の給水確保は困難である。また、新たに配水池・ポンプ室の場内配管等の増設拡張の整備をすることも考えられるが、現敷地内では限度があり、実現は考えられない。今後の水道事業については、安全でより美味しい水を安定的に供給することが強く求められおり、災害に強い施設と、システムの構築が大変重要と考えていることから、今回計画している右

●質問  
平成二十一年度の予算編成にあたり、世界的な金融危機、世界同時不況の中、法人市民税、個人市民税の大幅減収を見込んでの作業は大変厳しいものであったと思われる。今回の予算編成を終えた感想を伺う。



福田一夫 議員

●市長  
大変厳しい状況下での予算編成となったが、こうした逆境の中でこそ原点に立ち返り、改めて生活者起点に

百年に一度と言われる金融危機の中で、市長の予算編成の感想は



二 中村六区の残土埋立て  
（掲載以外の質問事項）  
粕配水場の移転更新は必要であると認識している。

**議会を傍聴してみませんか**  
詳しくは、議会事務局へ  
インターネットの場合は、「土浦市議会事務局」と入力して検索してください。「土浦市議会ホームページ」→「傍聴」で詳しくお知らせしております。  
●電話 029(826)1111 内線 2277  
●FAX 029(826)3379

**手話通訳者について**  
耳の不自由な方が本会議の傍聴を希望される場合には、手話通訳者の派遣を依頼いたします。  
ご利用の際には、少なくとも一週間前までに議会事務局へお申し込みください。

（掲載以外の質問事項）  
二 子どもの体力向上について  
立った行政サービスの在り方を見つめ直し、土浦の新たな発展飛躍につなげていく必要がある。今後の社会経済情勢が不透明な時代にあって、景気に左右されることなく、安定的、かつ継続的に市民サービスを提供していくため、引き続きスリムで筋肉質な行政運営に取り組んで参る所存である。